

犬のさんぽと除草剤 !!

昭和30年代の所沢が舞台のアニメ『となりのトトロ』のテーマ曲『さんぽ』は、ちびっ子が大好きな歌です。

のミニ風景が原（はら）にはあります。我が家の番犬たちは、ここの草道、森のトンネル、八幡様の石段コースが大好きです。草原ではムシャムシャと草を食（は）みます。犬が草を食べる理由は、①ビタミンの摂取、②胃腸を整える、③口のパクパクや食感が楽しいからと言われ、正常な行動です。ここで気がかりなのが除草剤が撒（ま）かれた草です。

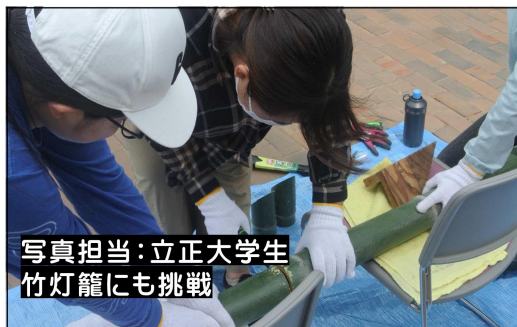
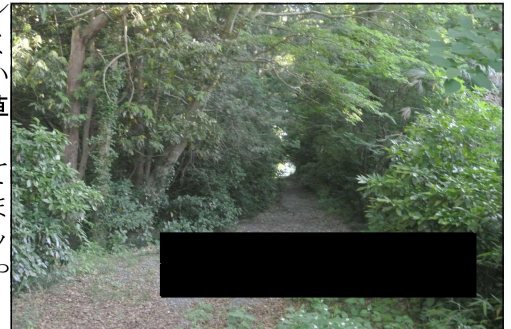
今ホームセンターに行くと、様々な除草剤が山と積まれています。値段も様々です。100円ショップでも売られています。誰でも購入でき、草刈り・草取りから解放され、ササッと撒いて根まで枯らす、簡単便利な農薬です。一方、不正や過度の使用には、様々なデメリットも指摘されています。

まず、農耕地用と非農耕地用の違い。前者は「農薬取締法」に従い国の厳しい審査を受け登録されたもの、後者はそうでないものです。紅麹（べにこうじ）サプリで話題となった特保（トクホ：特定保健用食品）と機能性表示食品との違いのようでもあります。

デメリットは、①健康への影響、②環境への影響：A 水資源（地下水や河川、海洋）の汚染、B 草と共生する虫（ミツバチなど）や微生物の減少、C 土壌汚染や地力の低下、D ミミズなど→鳥→獣→人間へと濃縮される食物連鎖、③弱い草の死滅と強い草の繁茂（はんも）、更に薬剤耐性植物への進化、④標的周辺の植物への影響、⑤枯死（こし）が不自然で美しくない、などです。便利な薬は「毒」にもなります。正しい知識を持ち、細心の注意を払って用法を守る。他の除草手段と併用する事です。

要は、草木や昆虫、鳥や動物、微生物まで、生物界はそれぞれがその持ち場で生き、皆繋（つな）がっていることを感じながら共生できればよいのです。店の看板が目立つようと、除草剤で街路樹を枯らした会社がありました。短絡的で利己的な発想の戒め（いましめ）としたいです。

今年度初めての作業活動は、6月9日（日）に行われました。新緑の下、自治会の皆様、立正大学関係者、中学校関係者、個人ボランティアなど 30 数名の参加者が、汗を流しました。中学校正門前や駐車場西側の雑木林、吉岡中学校・八幡神社北側斜面下の遊歩道の春先から伸びた笹や草を手鎌や刈り払い機を使って綺麗にしました。お疲れ様でした。



写真担当：立正大学生
竹灯籠にも挑戦



手鎌で下草刈り



刈り払い機で下草刈り

次回活動日

7月14日(日) 9:00~

里山整備作業予定(吉岡中駐車場集合)